

地方創生交付金等に係るKPI(主な重要業績評価指標)

事業年度: H29~

※【実績値】の色は達成度を示す

●: 目標値を達成(18) 72%

●: 改善したが目標値には達しない(5) 20%

●: 後退した(2) 8%

NO	交付金等の種類	担当課	事業の名称 【事業期間】	事業内容	指標	単位	重要業績評価指標(KPI)										
							H28年度末 (事業前)	H28年度末		H29年度末		H30年度末		H31年度末		事業期間終了時 計画終了年月	指標値 (事業前の値からの増減値)
								指標値	実績値	指標値 (事業前の値からの増減値)	実績値	指標値 (事業前の値からの増減値)	実績値	指標値 (事業前の値からの増減値)	実績値		
1		商工政策課	「めがねのまちさばえ」次世代産業支援事業 【H29.6~R4.3】	【地域資源を活かした新分野進出支援事業】 世界の各種ニーズに応じた医療器具、ウェアラブル機器等の試作開発数を増やすとともに、展示会への継続出展による認知度向上と本事業等での有望市場への参入加速化を目指す。 【鯖江ブランド確立支援事業】 1.産地ブランド力向上に向けた取組み支援事業 前年度の実証実験で得た知見や経験、課題を基に、新規市場向けPR、販路開拓、産地ブランド確立に向けた各種取組みを実施。加えて、これまでに絶大な産地PR効果を得た「工芸イベント」の継続開催により、さらなる産地認知度向上と本事業等での取組み試作品等のテスト販売の場とした。 2.伝統工芸とITを生かした地方創生事業 前年度のECサイト等での試験販売結果を踏まえ、商品や周辺デザイン等をブラッシュアップして訪日客も多い商業施設等での試験販売を通じ市場性を確認。また、3月にオランダで展示会開催を予定していたがコロナ禍により中止を余儀なくされた。	産地業界団体が運営する眼鏡産地アンテナショップ(東京・鯖江市)、うるしの里会館(鯖江市)計3店舗の来店者数	人	160,000	-	-	2,000	63,000	5,000	139,644	9,000	141,228	R4.3	20,000
					ウェアラブル情報端末関連企業をはじめとする成長産業分野との商談成立件数	件	5	-	-	5	6	10	117	10	159	R4.3	45
					世界の医療機器商社や医師における本市産医療器具の試用・試験採用件数	件	30	-	-	40	120	85	270	135	320	R4.3	250
					本市産医療器具、部品加工等の受注額	千円	40,000	-	-	60,000	180,000	160,000	280,851	310,000	465,460	R4.3	730,000
2		商工政策課	越前ものづくりの里プロジェクト 【H29.6~R2.3】 ※広域連携事業 (県、鯖江市、越前市、越前町)	【伝統工芸5産地職人塾】 伝統工芸に携わりたいと考えている若者が、高い技術の習得だけでなく、魅力ある商品づくりのためのデザインや経営的な視点を学び「稼ぐ職人」を創出することを目指す。 【伝統工芸産地連携事業】 昨年度の事業効果を検証した上で、事業内容を再検討し、産地連携による更なる地域ブランド力向上のため、各産地が海外市場を意識して開発した商品について、クラウドファンディングでの販売および産地PRを行うなど、「見せる」「売る」「広げる」の3つの戦略で事業展開した。	【県管理のKPI】 伝統工芸産地(丹南地区)の主要施設の入込客数	人	34,000	-	-	10,000	65,000	20,000	91,244	30,000	53,000	R2.3	30,000
					【県管理のKPI】 伝統工芸品(7品目)の生産額合計	百万円	8,900	-	-	275	335	550	231	825	275	R2.3	825
					【県管理のKPI】 伝統工芸職人塾生数(延べ人数・長期短期含む)	人	50	-	-	20	43	40	36	70	119	R2.3	70
3	地方創生推進交付金	商工政策課	2020年東京オリ・パラと連動した「めがねのまちさばえ」強化事業 【H29.11~R2.3】	【インバウンド市場開拓事業】 慶應義塾大学大学院メディア研究科の指導の下、鯖江市、市内企業、津田塾大学、越前漆器協同組合、香川大学等と連携開発した製品を拡大するとともに各関連見本市への出展や、外国人観光客の多い場所での評価試験等を実施。販売実績や、購入者等の生の声を吸い上げて、製品のブラッシュアップを図った。 【福祉・介護用品分野への新規参入事業】 本市が連携する3大学が有する世界最先端のIT技術と人間工学、医療・ヘルスケア等の知見を活かし、金沢大学医学部や金沢美術工芸大学、香川大学等とも連携して試用テストを重ねることで、ユーザーが使いやすい福祉・介護用品の開発・改良を実施。国際見本市への出展を行った。さらに、障がい者や要介護者が抱える生活課題を整理し、ユーザーが楽しく使用可能なデザイン等を取り入れるなどの改良を重ねることで、ユーザーと家族のQOL向上に努めた。 【鯖江の観光動態調査事業】 前年度と引き続き、津田塾大学と協働で継続して情報収集を行い、情報の蓄積による精度の向上と、人の動きの変化を検証し、今後の観光施策に反映するデータを増やした。 【めがねのまちさばえ大使とのコラボレーション事業】 めがねのまちさばえ大使「仮面女子」と鯖江市内、首都圏、関西圏でのイベントを開催した。また引き続き、「仮面女子」メンバーに鯖江市の課長を任命し、様々な行政施策等に参画してもらい、SNSでの情報拡散、メディアへの情報提供等での情報拡散を実施し、めがねのまちさばえの定着を図った。さらに、本市ゆかりの著名人を利用して、インターネットサイト等で本市産品等のPR・販売を行った。 【国連へのものづくり・まちづくりで活躍する女性発信事業】 国連の友市アライアメント協力の下、本市の女性の活躍を紹介する番組を作成し、国連NY本部、中国、韓国など世界各国に紹介を行った。さらに、インターネットを活用した発信も行い、本市の魅力を広げPRした。	新たに開発する訪日外国人向け土産品、海外向け製品(工芸品等)の売上高	千円	0	-	-	0	0	3,300	7,200	11,100	18,397	R2.3	11,100
					世界の消費財関連商社や小売店等との商談成立数	件	0	-	-	0	0	6	6	19	21	R2.3	19
					世界の福祉・介護関連商社との商談成立数	件	0	-	-	0	0	6	6	19	14	R2.3	19
					新たに開発する器具等の福祉・介護用品の売上額	千円	0	-	-	0	0	5,500	6,200	42,000	42,000	R2.3	42,000
4		商工政策課	「新ふるさと県民」の地域貢献促進事業 【R1.4~R4.3】 ※広域連携事業 (県、若狭町、鯖江市)	<県事業> ①「関係人口」の募集・掘り起し 地方での活動に関心をもつ都市型企業の社員や個人事業者等(「新ふるさと県民」という)に対して情報発信を行い、都市部において福井の地域課題や解決に向けた活動等を学ぶセミナーを開催する。 ②「関係人口」と連携した地域活性化プロジェクトの実施 地域資源や企業の魅力の磨き上げと発信、新たな地域ビジネスの創出など、地域課題の解決をめざした地域プロジェクトを市町が企画・実施する。市町は、地域プロジェクトに「新ふるさと県民」を受け入れ、継続的な来県と地域づくり活動への参加を促すとともに、「新ふるさと県民」のもつスキルや知見等を活かし、地域課題の解決をめざす。鯖江市では県の視点からみれば地域の魅力を発信する取組み、若狭町では山里海湖ビジネスを起業支援する取組みを実施する。 <うち鯖江市事業> 「関係人口」である人が外部の視点から、鯖江のものづくり企業の魅力や生活環境の良さなどを取材し、Webサイト「さばえの仕事図鑑」で発信を図るとともに、県外在住の若者等を対象に鯖江の仕事や生活を体験するバスツアーを実施した。	地域プロジェクトに参加する県外在住者数(関係人口の創出数)【県管理のKPI】	人	13	-	-	-	-	-	30	69	R4.3	235	
					企業訪問ツアーに参加する都市部在住の若手社会人や大学生【県管理のKPI】	人	0	-	-	-	-	-	-	20	30	R4.3	60
					ソーシャルビジネスの創出数【県管理のKPI】	件	0	-	-	-	-	-	-	1	1	R4.3	4
					移住者数【県管理のKPI】	人	719	-	-	-	-	-	-	31	101	R4.3	181
5	地方創生拠点整備交付金	社会福祉課	生涯活躍のまちの推進に資する世代交流の拠点施設の整備事業 (工事期間: H29.12~H30.3)	多機能型健康福祉施設である神明苑を、生涯健康で過ごせるまち、世代間交流、ノーマライゼーションの「場」の拠点と捉え整備した。車椅子にも対応できる新たな広い洋室、高齢者や外国人を含む観光やビジネスに対応した洋室、ロビーへの交流スペースの設置および館内の廊下床等の安全性の向上を行った。 ・2階の和室4室を洋室化しトイレを新設、1階の4室は拡幅し洋室2室にしユニットバスを新設 ・ロビーや受付の模様替え、ロビーへの地域資源を活用した交流スペース設置 ・廊下及び児童室壁床の模様替えによる安全性の向上 さらに、施設整備の効果の促進を図るため、次の3つの事業も展開した。 ・スポーツ施設を活用した障がい者スポーツ大会等の開催(健康づくり・共生事業) ・若者も集えるスポーツ施設の充実(健康づくり事業) ・高齢者と子ども遊び教室(世代間交流事業) ・地域の観光資源の掘り起しと観光ガイド育成による来訪者へのサービス提供(世代間交流・共生事業) ・介護予防教室の開催(健康づくり・共生事業)	神明苑宿泊数	人	4,454	-	-	-454	-1,143	-54	872	346	483	R4.3	1,046
					体育施設利用者数	人	13,325	-	-	-825	883	-525	3,037	-125	2,585	R4.3	675
					神明苑総売上額	千円	165,777	-	-	-5,777	-15,744	-777	-645	1,223	5,270	R4.3	6,223

事業年度: H28~

NO	交付金等の種類	担当課	事業の名称 【事業期間】	事業内容	重要業績評価指標(KPI)												
					指標	単位	H27年度末 (事業前)	H28年度末		H29年度末		H30年度末		H31年度末		事業期間終了時	
								指標値	実績値	指標値	実績値	指標値	実績値	指標値	実績値	計画終了 年月	指標値
1	地方創生拠点整備交付金	にぎわい推進室	新たな客層開拓に向けた観光拠点整備事業 【H29.3~R3.3】 (工事期間: H29.9~H30.3)	「ラポーゼかわだ」の遊休中の浴室を改修し、ヨガなどを行う屋内運動場やテレビ会議ができるミーティングルームを整備するほか、宿泊室の洋室化や伝統工芸品の良さを感ずることができるような模様替えなどを行う。	ラポーゼかわだ宿泊数	人	5,612	5,000	4,431	6,000	3,888	6,500	5,705	7,000	6,378	R3.3	7,500
					ラポーゼかわだ体験設備利用者数	人	11,593	11,000	10,024	12,500	9,280	13,000	10,352	13,500	6,682	R3.3	14,000
					ラポーゼかわだ総売上額	千円	183,351	175,000	166,817	185,000	152,378	190,000	169,391	195,000	153,871	R3.3	200,000
2	企業版ふるさと納税※	建築営繕課	鯖江市空き家利活用マッチングプロジェクト 【H28.8~R2.3】	平成27年に作成した空き家データベースをもとに、所有者が利活用を検討し良好な空き家物件の状況を調査し、空き家情報バンクに掲載するなど利用希望者を募る。 空き家をサテライトオフィス、厚生施設、一時居住施設などとして利活用を申し出た企業の使用目的に合致するように改修工事を行う所有者および賃借者に補助金を交付する。	空き家所有者からの利活用申込数	人	0	28	6	30	18	32	32	34	44	R2.3	34
					空き家利活用件数	件	0	0	0	7	6	14	9	21	13	R2.3	21
					空き家利活用による交流人口	人日/年	0	0	0	420	4,996	420	954	420	662	R2.3	420
					本事業による移住・定住者数	人	0	0	0	5	5	10	5	15	5	R2.3	15

※企業版ふるさと納税: 地方公共団体が行う地方創生の取組みに対する企業の寄附について、税額控除の優遇措置を受けることができる